

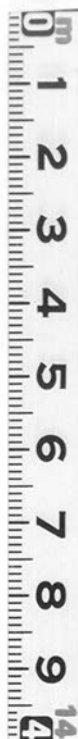
眞道

中村 主 宰 月 城

昭和九年二月二十日印刷
同 三月一日發行

創刊號 目次

一、宣言	中村月城
一、苦難の克服	同
一、詩三篇	長谷部俊一郎
一、短歌：温泉行	高久晚霞
一、我が魂を懐く	萩原たけ子
一、眞の道に	明智忠作
一、兒童の衛生智識に就いて	醫學博士 諸橋鐵彌
一、食物の話	醫學士 大森勇
一、お子様の喜ぶお辨當のお菜	門傳新美子
一、大和民族と基督教	中村月城
一、保育雜感	中村りゆ



園 兒 募 集

- 一、入園願書受付開始 三月一日ヨリ
- 一、開 園 四月九日
- 一、定 員 五 拾 名

私立認可 清風幼稚園

- 主 事 中 村 月 城
- 園 長 中 村 り ゅ
- (福島縣保母免狀有)
- 保 母 中 村 盛 子
- (東京府保母免狀有)
- 同 石 川 政 子

教 會 案 内

- 一、日曜學校 幼稚科ヨリ高等科マデ
毎日曜日午前八時半ヨリ
十時マデ
- 一、日曜禮拜會 毎日曜日午前十時
- 一、聖書講習會 毎日曜日午後七時半
- 一、祈 禱 會 毎水曜日午後七時半
- 一、婦 人 會 毎月一回

平町十五丁目二六

日本基督平教會



卷 頭 言

巴里のモンマルトン街を歩いてゐたとき、其處に住んでゐる少女の瞳のうちに、廣々とした青海原の輝きを見たとき、烟を耕してゐる祖先の姿が圖らずも自分の心の奥底から滲み出してくるのを感じた、と、モーリス、バレスは言つてゐる。

西は西であり、東は東であると誰かが叫んだやうに、所詮ラテン民族は飽迄フランス的であり、大和民族はどこまでも日本的である。而して夫れが當然であり、然かあるべき筈なのである。故に吾人は輕佻浮薄なるアメリカニズムや、享樂的なるギリシヤ主義を排する。随つてダンスやカフェー、ジャズ音楽等々を厭ふ。

吾人は固陋なる民族主義に立籠りて徒らに排外を事とする者の愚を學ばむとする者ではない。只だ大和民族としての傳統の精神に立脚して宇宙の眞を探究し、是れを把握し、仍つて眞道に生きむことを念願とす。



講

壇

苦難の克服

中村月城

新約聖書マタイ傳福音書第十章にキリストが特に十二名の弟子達を選抜して町々、村々へ派遣せられる時の訓示が記録せられてゐる。而して此訓示の第一要点は現世の批判である。「われ汝等を遣すは羊を豺狼の中に入るゝが如し」と言つてゐられる。佛教でも此世を濁世と言ひ、濁惡の世界「亦は穢土とも稱してゐるが、此世に罪惡が満ち、充ちてゐるのは事實である。

『慾孕みて罪を生み、罪成りて死を生む』と云ふ言葉があるが、煩惱と罪惡は滅びに到る近道である、といふことも判り切つた事實である。然し『それ神は其子キリストを世に賜ふほどまでに世を愛し給ふ。凡て彼を信ずる者の亡びずして永遠の生命を得ん爲也』と、あるごとく、神はその愛のゆへに人々が其罪惡のために滅び行くのを惜まるゝのである。

亡び行く人々を滅亡の淵より救ひ出す爲には誰か、危険を冒して救援に往く者が必要である。難破船へは生命がけで救命艇を漕ぎ寄せねばならぬ。随つて救援隊員には苦難がつきものである。神の聖旨を體し、此世の罪と戦ひ、罪惡を征服し、此世に神の國を建設せんとして起ち上つてゐる者には難難がある。キリストは其弟子達に決して安易なる生活を約束されはしなかつた。反つて、汝等には諸々の苦難があると言はれた。しかし、この苦難は光榮ある苦難である。それは救援隊員の苦難祖國の難に赴く者の苦難と種類を同じくするものであつて、光榮と祝福とが約束せられてゐるのである。

鹿子木教授が、新年の東京日日新聞紙上に於いて『天地創造の神は、天の御中主の神の外にはない而して其他の造化の神と稱はるゝは高御産巢日神と、神産巢日神とであるが、この「ムスビ」とは生成の事であつて、實は生成創造が神そのものである』云々と、言つて居られたが、そこで私の深く思ひ起したのは日本建國の大事實である。

古事記に依ると『天照大神ノ命ヲ以テ、豊葦原ノ千秋長五百秋ノ水穂ノ國ハ我御子正勝吾勝、勝ノ速日天ノ忍穗耳ノ命ノ知シメサン國也ト言ヨサシ賜テ天降シ給フ。於是、天ノ忍穗耳命、天ノ浮橋ニ

立タシテ曰ク、豊葦原ノ千秋長五百秋ノ水穂ノ國ハ甚クサヤギテアリケリ」と、ある。サヤギとは騒々しくさはがしい事である。即ち大和民族ならぬアイヌや其他の先住民族荒振る神達が此國土に騒々しく充滿してゐたのである。だから忍穂耳の命は國土平定の大業を爲し能はずして高天原に歸られた。其後、天の菩比の神が遣はされ、三年の後には天の若日子が派遣され、それより八年後に建御雷之神が遣はされ、最後に天の忍穂耳の命の御子、天津日子番能邇々藝の命の御親征となつたものである。

而して、この『ヒコホノニギノミコト』より世々相襲ぎて神武天皇に到つたのであるが、神武天皇が如何に難戦、苦闘をせられたか、又上代の天皇が如何に親しく軍の先頭に立つて征討の大業を進められしか、これ等の赫々たる偉業は我が日本歴史の明らかに示すとほりである。

明朗、淡泊、勇敢にして死を怖れず、神命を拜しては一身の安危を顧みず、悪賊を克服し、有ゆる艱難に耐え、王道樂土の建設に精進するところに大和民族の特色がある。

キリストが其弟子達に『われ地に平和を投ぜんために來れりと思ふな、平和にあらず、反つて劍を

投ぜん爲に來れり』と、言はれたのはこの事である。宗教とか、信仰とか云へば所謂、安心立命でいろ／＼な煩悶、煩惱を脱れて獨り靜かな神秘的境地に逃避することであるかのやうに思ふのは未だキリストの精神を知らざる者の迷ひである。何か大變高尚な悟りの境地にでも達したやうな已惚れに陥り、強ひて現實を否定し、現世を逃避するのは寧ろ一種の迷ひである。

勇敢に現實を直視し、正直に我が足許を見るならば、其處には如何に多くの邪惡が横行して天日を遮り、この世の邪惡と自他の惡業との爲に苦しみ、惱んでゐる魂のいかに多いかと解るであらう。

地上一切の邪惡、自他一切の惡業は悉く克服せられねばならぬ。……そうでなければ王道樂土も神の國も建設されはしない……。

キリストの聖訓を奉ずる者は眞の大和民族は身命を惜まず、死をも怖れず、神命を奉じてもろ／＼の苦難に耐え、自他一切の邪惡を克服して此世に神の慈愛の大御心が實現するやう（換言すれば神の國の發現を目指して）奮闘することを歡ぶ者であらねばならぬ。

この聖き御軍に参加する者にはいとも甘美なる歡喜があり、永遠に輝く光榮がある。



詩 三 篇

◇ 樹木 雪がすみ

仙臺 長谷部 俊一郎

六

雪にかすんだ今朝の風景はいい

墨繪のやうに淡くていい

生命の變化は

地上にその進行さへ意識されぬ

全力でうちこみ全力でつき當つて

さらさらした風格がかすみとなる

雪に 雨に

さまざま趣を現して

益々のびあがる

熱し切つて北風とたたかつてゐる

その内部がはりつめて裂けばなまなましい汁のふき出る

◇ 樹木に呼びかくる

ああ地上がのうのかすみ

みづみづとけむるとき

この灰色のいかめしい重壓も變るときがあらう

x

x

その希望に峻烈な寒さを反撥する

樹々の雄々しさをみよ
涙のこぼれる程感動する

☒ 氷 雨 に

身ぐるみその動行にゆれてゐるのだ

つきぬけ

すきを與へまいとして

ああ氷雨をはらむ樹木のなやみ

びしょ びしょ濡れ

なきながら 訴へながら



短 歌

☒ 温泉場の灯

高 久 晚 霞

○真晝間の冬陽に映ゆる刈田の上走るわが汽車滑るが如し

○山間の小驛を降りて踏む砂利の音すがしくも靴より出つる

○閑けさに過ぎたる山の温泉場に来て心なかなか慰さまぬかな

○温泉宿の堅き蒲團の重くして夜明くるまでを夢成らずけり

☒ わが魂を懐く

萩 原 た け

○ひんがしの小窓より世をかいま見てあはれなげくかおぞましびとよ
○あなとほと神の御座よりなかれいづるめぐみの泉にいざひたらまし
○ぬかづきて祈るひとゝきわれにしてわれにはあらず神とかよふも

○エス君のすがしき愛にひたりえてまことの犠牲に心打たるゝ

一〇

☒ 眞の道に

明 智 忠 作

○生きて行くかくある道の峻しさよ眞の道はなほ然りけり

○たゞ一つ眞の道を離れては世に通ずるの道はなからむ

○世の友よ共に進まんもろともに希望の國を打仰ぎつゝ

○暗き世に光り求めて喘ぐ友歸り來れよ神の御許へ



家 庭 欄

兒童の衛生智識に就いて

醫學博士 諸 橋 鐵 彌

尋常四年の本にナイチンゲールが、犬の創を治療した物語が載つてゐる。博愛心の教訓としては絶

好のものであるが、然し其時『創をお湯で洗つた』と、書いてある一節だけは寧ろ省略するか、然らずんば一步進んで正しい創傷療法を指導してほしい。同じ四年の本に迷信の警めと題して、トラホームを御水で洗つた事を戒めてあるが、水とお湯の相違だけで聊か前例と對して矛盾であるまいか。尙同じく四年の本の朝鮮人參の話は迷信の警めと對照して何たることであらう。衛生智識の涵養には、深呼吸や冷水摩擦、傳染病のお話だけでは物足りない。更に具體的に外傷や火傷、中毒や、出血やらの外科的救急處置に就いて正しき實地指導をすることが是非必要と思ふ。この爲には一般家庭に於ても、從來のイカガワシイ血止め藥とか、吸出し膏藥とかは捨て去つて、少くとも繃帶材料の一具や、オキシフル、硼酸水、沃度丁幾、硼酸軟膏、亞鉛華末、オレーフ油程度を常備し、その正しい使用法に就いて兒童達を實地に指導してほしい。徒らに生理解剖やらの抽象的理論の教育は却て危険がある半可通の抽象的衛生知識を持つてゐる人程インチキ賣藥や怪行者にひつかゝつてゐる。それよりは寧ろ具體的に、正しい治療法を個々に就き教示し、進んでは理論として、盲腸炎は早期に手術すべしとか、脱腸はくびれると危険だとか、胃痛は早期診斷、早期手術によつて助かるとかの實際問題を正

しく教示してほしい。

この正しい實際的教育が通つては博愛心の涵養ともなり得る事を信するのである。

食物の話

大

森

勇

西洋人は舌で食べ、支那人は腹で食べ、日本人は目で食べると云はれるが、食物は人間の生命を支へて行く大切なものだから、たゞうまいとか腹一盆になるとか綺麗だとか云ふ事を標準として食物を選択してはならぬ。穀屋に行つても肉屋に行つても八百屋に行つてもこの食物はどれだけの栄養價があるかと云ふ事を第一に考へなければならぬ。栄養價と燃焼價とは同じものではないが、燃焼價の高いものは大体に於て栄養價も高いのだから、カロリーの多い程食物の價値がある事になる。一カロリーとは一立の水を攝氏一度丈け高むるに要する熱量で、瓦斯七輪の火が約六秒間に發生する位の熱量であり、また之を機械的エネルギーに直せば大人を約八十人位一米丈け引揚げ得る。然らば吾々は毎日

何程のカロリーを要するかと云ふに、安靜時なら体重一疋に就き三〇―三五カロリーを要するのだから、体重五〇疋の人では毎日一五〇〇―一七五〇カロリーを要する勘定になる。劇しい労働に従事してる人は体重一疋に就き毎日五〇―五五カロリーを要するのだから、体重五〇疋の人では毎日二五〇〇―二七五〇カロリーを要する勘定になる。米飯一晩は約一八〇カロリー、牛乳一合は約四〇カロリー、鶏卵一ケは約八〇カロリー、合麵麴の一片(半斤を三つに切つた一切れ)は約二〇〇カロリーあるから、主食物はどれ丈け食べなければならぬのか大体的見當は計算されるわけである。或人が毎日一八〇〇カロリーを要すると假定して、米飯十碗(一八〇〇カロリー)さへ食べれば外に何も食べなくて充分かと云ふにそうは行かぬ。必ず蛋白質を攝らねばならぬ。その量は体重一疋に就き一瓦で体重五〇疋の人なら少くとも一日五十瓦の蛋白質を攝らねばならぬ。肉の種類に依つて蛋白質の含量に多い少いはあるが、大体に於てその二十%即ち二割は蛋白質だと思つて間違ひない。吾人は目と舌と腹で食物を食べる外に、常に食物の科學と云ふ事を考へて居らねばならぬと思ふ。

..... ×
.....

お子様の喜ぶお辨當のお菜

門 傳 祈 美 子

一、肉類のソボロ

何肉でもお好みの肉を挽き肉にして、鍋に味淋、醤油、砂糖を適宜に入れ、煮立たせたとろへ肉を入れぼろ／＼と汁のなくなるまでいりつけ、ひね生姜のしぼり汁を少々入れてかきませてから鍋をおろします。是にグリーンピース等をまぜてお飯の上に散らして上げると見た眼も美しく變つた感じでお子様は喜ぶ事と思ひます。

利用法 (イ)一度に二百匁位煮て置き即席オムレツの材料 (ロ)フライドエッグをつくる時白味のところへ散らしてするのも變つてると思ひます。

二、お野菜の小判焼き

玉ねぎ、馬鈴薯(中一個)人參(中半本)馬鈴薯は皮をむき水に一寸つけてあくをぬく、此の材料をお

ろしがねですりおろし之に卵を一個入れメリケン粉を少々入れてかきませ、どろりとしたものを作り砂糖、味淋、醤油で味をつけたものをフライパン又は天板にて厚さ二分位の小判形に焼きます。

利用法 (イ)前の味つけする時鹽、胡しやうで味をつけ、挽き肉又は野菜細かに切つたものを入れて適宜に丸め油で揚げホワイトソースをかけていたゞいてもよし、ドビグラスソースの中で煮込んでスチュードネールに見せかけてもよし、皆様の次第で色々變つたものが出来ると思ひます。

三、落花生の煮豆

時節柄炒り豆を使へると簡單です。豆をむき水で美麗に洗ひお湯をさして煮ます、軟かになつた時砂糖を適宜に入れてよくしみましたところで、鹽で味つけしてサツと煮ておろします。

社 告

本誌は巻頭の宣言にあるやうな趣旨で發刊するが、他方當地方代表的人士の發表機關ともなりたいと思つてゐる。

紙面の都合で掲載し得られなかつた玉稿も澤山あつて御寄稿下されし方々に濟ぬと思ふどうか來月をお待ち下さい。



研究

大和民族と基督教

中村 月城

一、緒言

私が東北學院の神學部にゐたのは二十有餘年前のことである。其頃、神學校では内外の専任教授から基督教神學の各部から、倫理學や哲學、心理學と型の如き教育を受け、世界諸宗教の事項も、宗教史の講座で笹尾博士から指導せられて一般的な研究をしたゞけで明治四十四年の春には卒業といふことになつて終つた。卒業後、秋田の教會へ赴任して八年間、雪の多い山の町横手に研究と思索の時を過したのである。

秋田縣に住むやうになつて知つたことは秋田人は漢學や、國學に強い興味を有ち、智識を有つてゐるといふ事であつた。それで私の研究は文學、漢籍、國學の方面へと段々深入りしていつたのである。

有名な藏書家の書庫から借出して佛典に讀み耽つたのも、ウバニシャツトの深秘的思想に引込まれていつたのも此頃のことであるが、秋田人であるといふのに心を惹かれて、平田篤胤翁の著作を讀み出したのも此時代のことである。

平田篤胤翁の研究は、勢ひ古神道學派の研究となり、上代日本史の探究となつていつたのは極めて自然の過程であるが、この研究の結果ゆくりなくも私の到達した道は、古神道と基督教との不可思議なる類似であり、最も根本的な点に於て殆んど一致して居るといふ事である。

其後、私は非常な興味を有つて古事記を學び、萬葉を探り、我が大和民族の上代史、特に其宗教的特質や、精神的特徴を研究するやうになつたのであるが、近年に到つて、基督教の母體であるヘブライ民族と大和民族とは最も密接なる關係があり、兩者の宗教的特質は殆んど全く同一であることを發見したのである。

既に母體たるヘブライの宗教と我が神道とが一致して居り、ヘブライ民族と大和民族とが密接、不離な關係に在り、とするならば、基督教と大和民族との親しい關係も自ら判明して來る譯である。然

し、斷つておかねばならぬことは、從來基督教が主として西洋人に依つて傳道された爲、基督教を西洋臭ひものと思つてゐる人の多いのは非常な誤りであつて、西洋人の書物にも基督教は東洋の産物であるから、東洋的色彩が強い、と書いてある位で、基督教本來の色彩は特に強い東洋色であると云ことである。

實は、昭和六年の末に、仙臺の東北新生館の主事塚田先生から需めらるゝに『大和民族と基督教』この一冊子を發行したのであるが、當時、新生館の豫算の關係上、極度に繼數の制限があつた爲心ならずも極めて斷片的なものを書いて終つたのである。

其後、讀者から多くの質問も來て居るやうで、私も非常に責任を感じ、更に詳しい著述をしたいと思ひ乍らも、未だ其機を得ないでゐたのであるが、幸ひ、今本誌の發行をみるやうになつたので、今後毎月の本誌に發表してゆきたいと思つてゐる。



保育雜感

清風幼稚園保育室にて

中 村 り ゆ 子

何んと素張らしい元氣になつたのだらう、此頃はこちらの方が引きづられてゐるやうである。『先生お仕事をしませう、々』と、皆が口々に言ふ。『今日はこれだけで止しませう』と、答へると『先生弱虫ネ、私達はおつとしたいわ』と言ふ。日毎にむづかしくなつてゆくお仕事だが、子供達には新しい物を創作してゆく歡びがあり、仕上げてゆかうといふ強い要求が生れて來たのである。驚くべき進歩であることを思ふと感激の涙が湧く。

子供達の歸つた後の保育室は伽藍堂のやうで静かである。私は幼児達のおふとんを片付けながら、其のおふとんの端に書かれてある名前を見てはいろ／＼思ひ出す。あの子のお仕事は未だ何處か不器用である。然し、去年から比べると見違へる程立派に出來てゐる。さうだあの子にしては大した進歩である。眞剣な努力、さうだ、眞剣な努力さへあれば如何なる困難にも打勝つて行く事が出来る。や

がては人生の荒浪をも乗り切つて往ける力である。あの子が真剣に努力するやうになつて呉れたことは、ほんとうに有り難いことである。

Kちゃんは今珍らしく頭腦の進んだ子である。何をしても他の子供達とは飛び離れて良く出来る。然し、明敏過ぎて仲間の缺點や、弱點を得意になつて指摘する。若しこの子が信仰も有たずに成人するなら、それは怖ろしい事である。無宗教で賢いほど危険なものはない、私はKちゃんの爲にもつと祈らねばならぬと染々考へる。

矢張り性格的に善良でないと何事も永續しない、幼稚園のお仕事は決してどうでも良いお仕事ではない。然し世話を焼き過ぎてはいかん。底ひ過ぎて悪い。自然的に、自發的に、其潑刺たる力を伸ばさせねばならぬ。

缺點や、弱點を強く指摘することは伸び行く生命の芽を枯らすことになる。だから子供の缺點を叱るよりも、其特色と美點とを見付け出して子供達自身の内側から伸び上る芽を育ててゆかねばならぬ。保母には忍耐と愛が特に必要だと深く思はせられる。

大衆奉仕を 生命とする

平町四丁目

マルトモ書店

電話二三四番

マルトモ運動具店

電話五九七番

マルトモ食堂

電話一二三番

昭和九年新春を迎へて……………
第一回感謝の報告を申し上げます

化粧品と石鹼の奉仕販賣

皆様の日常の必需品たる化粧品と石鹼を
昭和九年の奉仕販賣の第一線に立て、普
通市價の割安をモットーに願ひする
事に致しました
まづ御来店の上奉仕振りを御覧下さい

洋品 化粧品 小間物

大 黒 屋

平町三丁目 電話 116

祝 發 刊

平町長

青沼鋒太郎

平第一小學校長

篠山廉

平第二小學校長

津田達造

平第三小學校長

赤津千里

昭和九年二月二十日印刷
昭和九年三月一日發行

〔定價十錢〕

編輯兼 發行人 中村清次

印刷人 常磐毎日印刷株式會社
代表者 川崎文治

印刷所 福島縣平町長橋町三五
常磐毎日印刷株式會社

發行所 眞道社
福島縣平町十五丁目二六

諸橋外科醫院

平町新川町

院長醫學博士 諸橋鐵彌

昭和九年度

產婆 看護婦 生徒募集

申込 成るべく御早く

入學資格 高等小學卒業以上

新學開始 四月八日

平南町

平產婆看護婦學校

電話三〇七番

附屬に!!
篤實老練なる看護婦を
急派の御命に應じます

平看護婦會

清野キヨ子

編輯室より

多くの方々の御後援に
依つて漸く本誌を創刊し
得るに到つた事を感謝す
る。然し、雑誌の發行は
不馴れであるので、皆さ
んの御期待に添はぬ点か
多いことと思ふ。併し赤
子は成長するものである
から希望を失はぬやう願
ひたい。

本誌定價

一部拾錢
十部八拾錢

祝 發 刊

平町五丁目

久金屋商店